

秋田県の農林水産業の概要

特徴・取組

秋田県の総面積は約116万haで、その72%に当たる約84万haが森林、13%に当たる約15万haが耕地として利用されている。耕地面積は全国第6位で、特に雄物（おも）川や米代（よねしろ）川などの主要河川流域の盆地や海岸平野に広大で肥よくな耕地が開け、農業に適した条件となっている。

気候は、典型的な日本海岸気候で、冬期間の積雪寒冷気候が農業振興を図る上で大きな制約となっている。一方、夏期は梅雨が短く比較的冷涼であるため、野菜や花きの生産に好適であるとともに、水稻生育期間中は気温が十分に確保され気温の日較差も大きく、米づくりに向いた気候となっている。

農林水産部門の就業人口は、平成2年から令和2年にかけて、62%減少し、40,142人となった。これにより、総就業人口に占める割合は30年間で半減し、8.7%となっている。

就業人口を産業別にみると、（令和2年度）第3次産業の割合が66.1%、第2次産業が23.6%、第1次産業は8.7%となっている。

近年では第1次産業の割合は大きく低下しているものの、古くから農林業が主力産業として栄えてきたことから、第1次産業の割合が全国と比べ高くなっている。

令和4年度の県内総生産（名目）に占める農林水産業の割合は、2.7%となっている。一方、令和5年の農業産出額に占める米の割合が53%（全国16%）、令和6年の耕地面積に占める田の割合が88%（全国54%）と、他県に比べて米の割合が高いが、近年は野菜や畜産等の生産が拡大している。

農林水産業が魅力的な地域産業として発展できるよう「新ふるさと秋田農林水産ビジョン」を策定し、農業者や地域の意欲ある取組を積極的に支援した結果、園芸メガ団地・大規模畜産団地の整備や、えだまめ・ねぎ・しいたけ等の日本一を目指した産地づくりが進んだほか、「秋田牛」の販路拡大、果樹・花きのオリジナル品種や秋田米新品種「サキホコレ」の栽培拡大など、農業の基盤が整備された。

林業については、県内森林の半分が植栽等により造林された人工林で、全国屈指の資源量を誇っており、その9割を占めるすぎが本格的な利用期を迎えていることから、公共建築物の木造化等、県産材の利用が推進されている。

水産業については、つくり育てる漁業の積極的な推進により、トラフグ、キジハタ種苗の生産及び育成技術開発や、マダイやヒラメ、アワビの種苗放流により資源の維持・増大が図られている。

主な農林水産物

米 新品種の「サキホコレ」は全国トップブランドとしての地位確立に取り組む。主力品種「あきたこまち」作付面積は7割を占める。（収穫量全国3位） 	ねぎ 園芸メガ団地主力品目。山本地域を中心に生産。「白神ねぎ」「秋田美人ねぎ」の名称でブランド化。（収穫量全国8位） 
えだまめ 日本一を目指して、生産者、関係機関が一体となって生産を振興。品種の組合せによる長期出荷（7～10月）に取り組む。（収穫量全国6位） 	アスパラガス 園芸振興に向けた主力品目として、全県において露地、半促成栽培の組合せにより3～10月と長期間出荷が行われている。（収穫量全国10位） 
りんどう 中山間地を中心に夏場の冷涼な気候と水田を活用し、「秋田りんどう」のブランドで生産を拡大。（出荷量全国2位） 	しいたけ 降雪の多い県内でも周年生産できる品目。京浜中央卸売市場「販売三冠王」を5年連続で獲得。（生しいたけ生産量全国4位） 
りんご 鹿角・平鹿地域が主な産地。県オリジナル品種「秋田紅あかり」などの導入を進め、産地化や輸出を推進。（収穫量全国6位） 	すぎ 秋田すぎの天然林は、日本三大美林の一つ。人工林面積は全国一で、間伐や再造林を促進し、木材優先利用に取り組む。（生産量全国3位） 
比内地鶏 県を代表する特産品。食文化の維持や食産業振興の観点からも重要な品目。北秋田地域を中心に令和5年は、42.5万羽を生出荷。 	はたはた 重要魚種。漁獲量は減少傾向にあるが、水揚げ日数の制限などにより資源管理に取り組む。（漁獲量全国2位） 

秋田県内の各地域における農林水産物

県全域

【農畜産物】水稲、大豆、ねぎ、えだまめ、そば、肉用牛、乳用牛、豚

【林産物】すぎ、しいたけ、わらび

山本地域

【農畜産物】花みょうが、ミニトマト、アスパラガス、キャベツ、うど、じゅんさい、りんどう、きく、比内地鶏

【林産物】まいたけ、ねまがりたけ

【水産物】はたはた、あまだい、あわび、うすめばる、たら

秋田地域

【農畜産物】メロン、キャベツ、かぼちゃ、たまねぎ、日本なし、ぶどう、きく、ダリア、いちじく、鶏卵

【林産物】まいたけ

【水産物】はたはた、あまだい、たら、あわび、ふぐ、しらうお、わかさぎ

由利（ゆり）地域

【農畜産物】アスパラガス、ミニトマト、キャベツ、さやいんげん、かなかぶ、いちじく、りんどう、きく、ばら、トルコギキョウ、比内地鶏

【林産物】ぶなしめじ、ねまがりたけ

【水産物】はたはた、あまだい、たら、あわび、ずわいがに

雄勝（おがち）地域

【農畜産物】すいか、トマト、きゅうり、ひばり野オクラ、せり、おうとう（さくらんぼ）、りんご、ぶどう、関口（せきぐち）なす、ひろっこ（あさつきの若芽）、平良（たいら）かぶ、ストック、トルコギキョウ、きく、りんどう、鶏卵

【林産物】ねまがりたけ

鹿角（かづの）地域

【農産物】きゅうり、トマト、アスパラガス、松館（まつだて）しぼり大根、りんご、もも、ゆり、トルコギキョウ、きく

【林産物】ねまがりたけ

北秋田地域

【農畜産物】きゅうり、やまのいも、にんにく、ホップ、アスパラガス、大館とんぶり、りんご、日本なし、ダリア、比内地鶏、鶏卵

【林産物】からまつ、ねまがりたけ

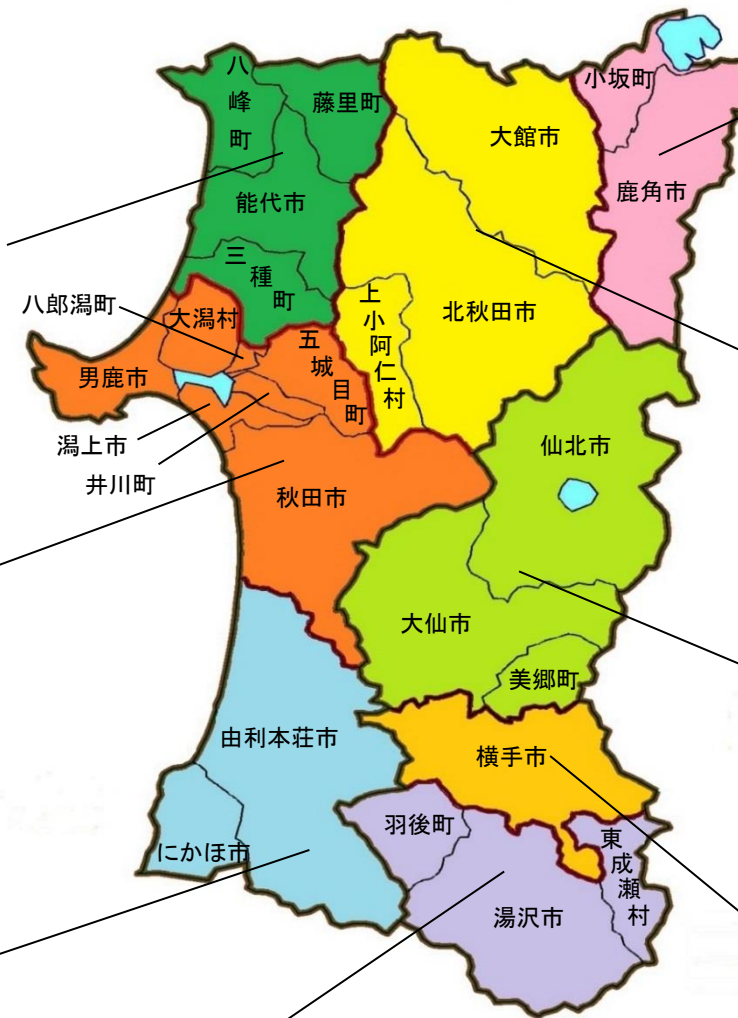
仙北（せんぼく）地域

【農畜産物】トマト、アスパラガス、きゅうり、ほうれんそう、りんどう、きく、トルコギキョウ、ダリア、ケイトウ、鶏卵

平鹿（ひらか）地域

【農畜産物】すいか、きゅうり、トマト、アスパラガス、ほうれんそう、さといも、食用ぎく、ホップ、りんご、ぶどう、おうとう（さくらんぼ）、山内（さんない）にんじん、きく、トルコギキョウ、ゆり、鶏卵

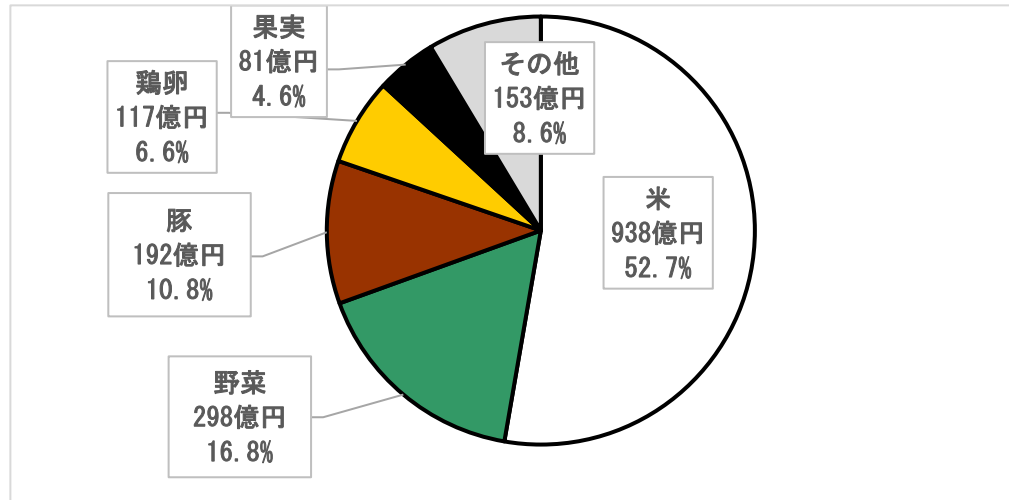
【林産物】なめこ、ぶなしめじ



秋 田 県 の 農 業 (1)

- ・ 農業産出額は1,779億円で全国19位。うち米が938億円（52.7%）、野菜が298億円（16.8%）、畜産が411億円（23.1%）。
- ・ 農畜産物の生産状況は、りんどう、ホップが全国2位、水稲が3位、おうとうが4位、えだまめ、りんごが6位、大豆、そば、ねぎが8位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区 分	年次	秋 田 県	全 国	全国順位
水稲	収穫量	R6 490,000 t	7,345,000 t	3
大豆	収穫量	R5 6,960 t	260,800 t	8 *
そば	収穫量	R5 977 t	35,600 t	8 *
えだまめ	収穫量	R5 3,860 t	62,000 t	6
ねぎ	収穫量	R5 11,600 t	416,300 t	8
アスパラガス	収穫量	R5 1,070 t	24,600 t	10
りんご	収穫量	R5 16,300 t	604,000 t	6
おうとう	収穫量	R6 250 t	11,500 t	4
りんどう	出荷量	R5 8,420 千本	69,000 千本	2
ホップ	生産量	R6 35 t	127 t	2

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「ホップに関する資料」

農業産出額のデータ

区 分	秋田県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	1,779 億円 (100.0)	94,952 億円 (100.0)	19
米	938 億円 (52.7)	15,193 億円 (16.0)	3
麦類	0 億円	678 億円	24 *
雑穀	2 億円	77 億円	9
豆類	10 億円	572 億円	10
いも類	8 億円	2,301 億円	26
野菜	298 億円 (16.8)	23,243 億円 (24.5)	27
果実	81 億円 (4.6)	9,590 億円 (10.1)	29
花き	22 億円	3,522 億円	39
工芸農作物	3 億円	1,467 億円	28
その他作物	6 億円	585 億円	26 *
畜産	411 億円 (23.1)	37,212 億円 (39.2)	25
肉用牛	58 億円	7,696 億円	32
乳用牛	27 億円	9,249 億円	36
生乳	26 億円	8,310 億円	36
豚	192 億円	7,194 億円	12
鶏	130 億円	12,033 億円	27
鶏卵	117 億円	7,413 億円	23
ブロイラー	- 億円	4,471 億円	- *
その他畜産物	4 億円	1,041 億円	13
加工農産物	0 億円	513 億円	41

出典：「令和5年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和5年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：() は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和7年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

秋 田 県 の 農 業 (2)

- ・耕地面積は14万5,600haで全国6位。うち田が12万7,700ha、畑が1万7,800ha。
- ・農業経営体数は2万8,947経営体で全国14位。うち法人経営体が710経営体で15位。
- ・市町村認定及び都道府県認定経営体数は8,290経営体で全国5位。うち法人数が884法人で6位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が7,700万円で全国18位、経営体数は30経営体で9位。

耕地面積

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
耕地面積	145,600 ha	4,272,000 ha	6
田	127,700 ha	2,319,000 ha	3
畑	17,800 ha	1,952,000 ha	23
普通畑	11,900 ha	1,118,000 ha	20
樹園地	2,040 ha	248,600 ha	35
牧草地	3,890 ha	585,900 ha	8
参考) 総土地面積	11,637.52 km ²	377,975.68 km ²	6

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	544 ha	256,676 ha	45

出典：「令和5年度の荒廃農地面積(令和6年3月31日現在)」

農業経営体数、総農家数及び集落営農数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
農業経営体数	28,947 経営体	1,075,705 経営体	14
法人経営体	710 経営体	30,707 経営体	15
総農家数	37,116 戸	1,747,079 戸	22
販売農家	27,780 戸	1,027,892 戸	15
参考) 世帯総数	385,187 世帯	55,830,154 世帯	40
集落営農数	730 集落営農	13,998 集落営農	3

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和6年集落営農実態調査結果(令和6年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	103,883 ha	2,593,345 ha	3
集積率	71.2 %	60.4 %	2

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和5年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	33,720 人	1,363,038 人	18
男	21,479 人	822,144 人	18
女	12,241 人	540,894 人	18
65歳以上	24,138 人	948,621 人	17
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	71.6 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	8,290 経営体	216,784 経営体	5
法人数	884 法人	29,128 法人	6
参考) 人口総数	959,502 人	126,146,099 人	38

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和6年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
農産加工	総額 7,419 百万円 事業体数 740 事業体	999,786 百万円 27,760 事業体	34 10
農産物直売所	総額 10,838 百万円 事業体数 410 事業体	1,126,420 百万円 21,240 事業体	43 23
観光農園	総額 188 百万円 経営体数 40 経営体	37,281 百万円 5,050 経営体	41 33
農家民宿	総額 77 百万円 経営体数 30 経営体	5,352 百万円 1,140 経営体	18 * 9
農家レストラン	総額 423 百万円 事業体数 20 事業体	39,434 百万円 1,360 事業体	32 * 21

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

秋 田 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は146.4億円で全国9位。うち木材生産が106.9億円、栽培きのこ類生産が38.8億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国5位、すぎが全国3位、生しいたけ、ねまがりたけが4位、わらびが6位。

林業産出額

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
林業産出額	146.4 億円	5,562.5 億円	9
木材生産	106.9 億円	3,257.0 億円	6
栽培きのこ類生産	38.8 億円	2,199.2 億円	14

出典：「令和5年林業産出額」

林産物の生産状況

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
素材生産量	969 千m ³	20,647 千m ³	5
針葉樹	902 千m ³	18,926 千m ³	5 *
すぎ	865 千m ³	11,917 千m ³	3
からまつ	16 千m ³	1,837 千m ³	8 *
広葉樹	67 千m ³	1,721 千m ³	7 *
生しいたけ	生産量 3,770 t	63,374 t	4
ねまがりたけ	生産量 7 t	74 t	4 *
わらび	生産量 18 t	415 t	6 *
木質粒状燃料	生産量 6,023 t	158,646 t	7 *

出典：「令和5年木材統計」、「令和5年特用林産基礎資料」

林野面積

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
林野面積	832,517 ha	24,770,201 ha	6
国有林	371,837 ha	7,153,338 ha	4
民有林	460,680 ha	17,616,863 ha	11
人工林面積	405,970 ha	10,133,111 ha	4

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

製材工場数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
製材工場数	72 工場	3,749 工場	27
製材用素材の入荷があった工場数	72 工場	3,722 工場	27
国産材のみ	69 工場	3,116 工場	21
国産材と輸入材	3 工場	511 工場	35

出典：「令和5年木材統計」

林業経営体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
林業経営体数	1,010 経営体	34,001 経営体	10
法人経営体	133 経営体	4,093 経営体	6

出典：「2020年農林業センサス(令和2年2月1日現在)」

秋 田 県 の 漁 業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は30億円で全国38位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のはたはたが全国2位、べにずわいがにが6位、海面養殖業のこんぶ類が6位、内水面漁業のわかさが2位。
- ・ 漁業生産関連事業は、水産物直売所の年間販売（売上）金額が5億円で全国21位、事業体数は10事業体で20位。

漁業産出額

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	30 億円	15,265 億円	38
海 面 漁 業	29 億円	9,534 億円	35
海 面 養 殖 業	- 億円	5,731 億円	-

出典：「令和5年漁業産出額」

漁業経営体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業経営体数	476 経営体	65,662 経営体	34
内水面漁業経営体数	98 経営体	4,076 経営体	11

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業就業者数	630 人	121,389 人	38
男	606 人	109,757 人	38
女	24 人	11,632 人	34

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
漁船隻数	613 隻	109,283 隻	33
動力漁船	263 隻	58,906 隻	38

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	5,341 t	3,777,921 t	36 *
海面漁業漁獲量	5,193 t	2,926,411 t	37
はたはた	111 t	565 t	2
べにずわいがに	839 t	13,371 t	6 *
海面養殖業収穫量	148 t	851,509 t	35 *
こんぶ類	5 t	25,741 t	6 *
内水面漁業・養殖業生産量	163 t	51,908 t	29 *
内水面漁業漁獲量	138 t	21,567 t	13
わかさが	120 t	585 t	2 *
内水面養殖業収穫量	25 t	30,341 t	36 *
その他のます類	10 t	2,067 t	20 *

出典：「令和5年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	秋 田 県	全 国	全国順位
水産加工	総額 205 百万円 事業体数 10 事業体	179,159 百万円 1,220 事業体	34 * 25
水産物直売所	総額 515 百万円 事業体数 10 事業体	34,988 百万円 810 事業体	21 * 20
漁家民宿	総額 42 百万円 経営体数 0 経営体	5,389 百万円 540 経営体	24 * 29
漁家レストラン	総額 - 百万円 事業体数 - 事業体	13,249 百万円 380 事業体	- * -

出典：「令和5年度6次産業化総合調査結果」

秋田県の農林水産業の話題等（１）

秋田米「サキホコレ」のブランド確立

「サキホコレ」が全国トップブランドとしての地位を確立するため、高品質な米の安定供給に向けた生産対策、訴求力のあるブランドイメージと販売チャネルの構築を目指す流通・販売対策、ファン獲得に向けた戦略的な情報発信などを総合的に実施している。

令和５年産は、１７の生産団体に所属する８７７経営体が、１,３０２haで作付けを行い、各地域に技術普及展示ほを２０か所設置して生育データの収集等を行うとともに、指導者や生産者を対象とした栽培技術研修会を開催した。また、令和７年２月に（一財）日本穀物検定協会から発表された令和６年産米の食味ランキングにおいて特Ａ評価となり、参考品種での出品を含めると４年連続の獲得となった。

プロモーションとして、県内や首都圏等でのテレビＣＭ放映や、県外量販店等での販売促進キャンペーン実施、大相撲での懸賞旗掲出、学校給食での提供、サキホコレ音頭大会開催、新生活応援キャンペーン実施などを展開している。



大相撲懸賞旗

夏秋ねぎの出荷量は全国第２位

秋田県の野菜生産は（えだまめ、ねぎ、アスパラガス、トマト、きゅうり、すいか）を重点６品目として、振興を図り単収の底上げや品質向上に向けて取り組んでいる。

ねぎは其中で主力品目で、ＪＡから「白神ねぎ」や「秋田美人ねぎ」のブランドで出荷しており、全国の指導者研修会や、首都圏市場での品質査定会を開催し、規格や出荷資材の統一を進めてきた。

山本地域を中心にねぎ園芸メガ団地等の大規模園芸拠点の整備が促進され、また、機械化一貫体制の普及等により、全県域で栽培面積の拡大が進んでいる。令和５年の出荷量は、７月の大雨と８月の高温・少雨の影響により、京浜中央卸売市場への夏秋ねぎ（７～１２月）３,８５１トンと前年に比べて２１％減少したものの、夏秋ねぎの出荷量は、茨城県（６,３７２トン）に次いで、５年連続の全国２位となった。

また、令和５年度の系統販売額が２９億円と、８年連続で２０億円を超えている。

今後については、大雨等の気象災害に対応できる技術の周知を図るとともに、実証ほで成果を確認した「溝施肥による減肥栽培」等の現場に即した技術の横展開を図っている。



ねぎの栽培ほ場

秋田県の農林水産業の話題等（２）

6次産業化の推進及び地域農業の活性化

秋田県の6次産業化の現状として、令和5年度の実績事業体数は1,240事業体（東北4位）で、その販売額は189億円（東北6位）となっている。また、農産加工に取り組む事業体は740事業体（東北3位）で、その販売額は74億円（東北6位）となっている。

秋田県では農林水産物の付加価値を高め、農業所得の向上や雇用の確保を図るため、6次産業化の推進を重点施策に位置付け、新たなビジネスの創出を支援し、「第3期秋田県6次産業化推進戦略」に基づき、サポート体制の強化や異業種との連携を強化し、新たな商品開発等の支援を実施し、地域農業活性化を推進している。

酒米専用もみ乾燥処理施設の整備

新政酒造(株)（秋田市）は、平成27年から秋田市河辺鶴養地区で、酒造用米の契約栽培を実施してきました。基盤整備をきっかけに、令和5年から自らも農地を所有し、自社水田で酒米の栽培を手がけており、酒米専用もみ乾燥処理施設を整備し、収穫乾燥調製を内製化することで、日本酒の品質向上と地域農業の維持・発展に取り組んでいる。

さつまいもの生産・加工・販売体制の整備

(株)秋田ニューバイオフィーム（由利本荘市）は、さつまいもの生産から加工、販売までを一貫して行う体制を整備し、経営の周年化と「にぎわい創出」による地域活性化を図っている。砂質土壌を生かした自社農場での生産のほか、県内の農業者と連携し、中山間地の遊休農地などを活用した生産を行い、加工施設と併設した直売所「あきたおいもさんち」で干し芋やソフトクリームを販売している。

改正食品衛生法に対応した漬物加工施設の整備

いぶりがっこ等の漬物や地場産農産物の加工業の維持・発展を図るため、令和4年～5年度において、改正食品衛生法に対応した漬物加工施設（134施設）の整備を行う農業者の支援を実施した。



新政酒造の酒米専用もみ乾燥処理施設



さつまいもの加工品を販売



漬物加工施設の整備